敬悼録

十二月

日	住所	法名	年齢
三日	西谷町	宇野 安高	六十一歳
六日	東辰川町	中谷 房子	七十四歳
十一日	西惣付町	阿垣 佐々木 瑞夫	八十二歳
十一日	西片山町	山本 ミツエ	六十九歳
十三日	焼山一	船木 澤美	七十四歳
十三日	西三津田町	森原 幸江	八十一歳
十七日	西辰川二	川上 千枝子	八十一歳
廿日	東中央三	田島 笠子	七十二歳
廿三日	広弁天橋町	法堂 タツ子	一〇三歳
廿六日	東鹿田町	弘 春枝	八十一歳
廿八日	内神町	久保田 ミツヨ	九十一歳
廿九日	三条三	末永 二井内 敏子	九十六歳

二〇〇四年（平成十六）一月

日	住所	法名	年齢
三日	西辰川一	原野 キクエ	八十五歳
五日	広島市南区	船木 清美	八十一歳
十三日	江原町	梶山 チエコ	八十一歳
十五日	長ノ木町	青井 博	七十三歳
十八日	郷町	圓石 絹江	八十九歳
十九日	清水一	飯島 実	九十三歳

二月

日	住所	法名	年齢
廿日	長ノ木町	宮原 斉	八十一歳
廿二日	三条四	井上 順	七十四歳
廿五日	中央六	尾崎 イサ子	八十六歳
廿八日	焼山本庄五	大谷 フミ子	八十六歳
廿日	西惣付町	水口 千代子	九十九歳
二日	中央三	宮下 冨士枝	九十一歳
三日	中央五	広本 恒夫	八十二歳
七日	焼山本庄四	岡崎 百合子	九十二歳
九日	西辰川二	杉原 勇	八十六歳
十一日	畝原町	村重 滋	八十一歳
十三日	伏原三	守屋 棟夫	八十四歳
十四日	南辰川町	岡本 チサヨ	九十二歳
十六日	小平市	国分 正雄	七十一歳
十七日	長ノ木町	檜和田 萬蔵	九十二歳
十七日	東中央一	甲中 アキエ	七十五歳
十七日	西惣付町	船尾 正治	七十八歳
廿一日	西中央三	吉田 文紀	八十八歳

（敬称略　年齢は数え年）

現代人の苦悩に寄りそう第3回広島真宗カウンセリング学習会の様子。

圓石絹江さん

明るい活発な方で、長年西教寺蔵本通支坊仏教婦人会副会長を勤められました。お茶、日本舞踊に通じられ、筆者（住職）もお参りに行ってはお抹茶をよばれました。

報恩講仏の子どもの集い

年末恒例になった、安芸南組報恩講（あきなんそほうおんこう）仏の子（ほとけ）どもの集いが、去る十二月二四日、蔵本通支坊で行われました。

今年のアトラクションは法眼寺住職（ほうげんじじゅうしょく）と五番町小学校（ごばんちょう）ＰＴＡによる影絵「竜（たつ）の子太郎」でした。母を探し求めて旅をする間にさまざまな苦労をする太郎ですが、その経験をもとに、竜が住むと恐れられた湖を、巡り会えた母とともに皆が待ち望む畑にかえるという話です。

編集者は、影絵がこんなに綺麗（きれい）なものだとは思ってもいませんでした。何から何まで全くの手作りということで、連日夜遅くまで準備と練習をされたとのこと。スクリーンも前日の晩に会場にあわせて作るという手の込みよう。心を込めて作った物は、人を感動させるのでしょうか、一六〇名の子供たちは、約三〇分間、誰一人ひと言もしゃべらずにじっと見入っていました。

探しもとめた母にようやく出会うことができた感動的場面。